

正誤表（達成状況評価）

90：情報・システム研究機構

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01		p.4	情報研は三井住友アセットマネジメント株式会社（以下 SMAM）、日本アイ・ビー・エム株式会社（以下、日本 IBM）及び LINE 株式会社と、統数研は三菱ケミカル株式会社と、それぞれ共同研究部門を設置し共同研究に取り組んでいる	情報研は <u>三井住友 DS アセットマネジメント株式会社</u> （以下 SMAM）、日本アイ・ビー・エム株式会社（以下、日本 IBM）及び LINE 株式会社と、統数研は三菱ケミカル株式会社と、それぞれ共同研究部門 <u>等</u> を設置し共同研究に取り組んでいる	脱字のため
02		p.5	SIP スマートバイオ産業・農業基盤技術委託事業	<u>戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)「スマートバイオ産業・農業基盤技術」の委託事業</u>	正確に表記するため
03		p.7	うち 15 件が国際共同研究に発展した。（中期計画 1-1-1-9）	うち 15 件が国際共同研究に発展した。 <u>（中期計画 1-1-1-11）</u>	誤記のため
04		p.15	（物質・材料記述基盤グループとして参画）を初めとする大型研究予算の獲得、	（物質・材料記述基盤グループとして参画）を <u>始め</u> とする大型研究予算の獲得、	誤字のため
05		p.17	<u>“アジア諸国における農林資源管理に向けた研究コンソーシアム (A²gFReM)を形成し、</u>	<u>“アジア諸国における農林資源管理に向けた研究コンソーシアム (A²gFReM)”を形成し、</u>	括弧の記載漏れのため
06		p.17	アジア諸国における農林資源管理	<u>“アジア諸国における農林資源管理</u>	括弧の記載漏れのため

正誤表（達成状況評価）

			に向けた研究コンソーシアム (A2gFReM)”を形成し、	に向けた研究コンソーシアム (A ² gFReM)”を形成し、	
07		p.18	インパクトファクターの高い国際 学術に掲載できるように努める。	インパクトファクターの高い国際 学術誌に掲載できるように努め る。	脱字のため
08		p.19	これらの成果は、いずれも高いイ ンパクトを有する学術誌に掲載さ れた。	これらの成果は、いずれも高いイ ンパクトを有する学術誌に掲載さ れた。	誤字のため
09		p.20	LINE、日本 IBM、三井住友銀行等 とそれぞれ設置した共同研究部門 の研究センターにおいて、	LINE、日本 IBM、 <u>三井住友 DS ア セットマネジメント</u> 等とそれぞれ 設置したそれぞれ設置した共同研 究部門等の研究センターにおい て、	誤記及び脱字のため
10		p.25	最新の研究成果と参加者の課題を 共有する「NII 産学官連携塾」を	最新の研究成果と参加者の課題を 共有する「NII <u>産官学</u> 連携塾」を	誤記のため
11		p.25	特に、LINE、日本 IBM、三井住友 銀行等との共同研究部門では、	特に、LINE、日本 IBM、 <u>三井住友 DS アセットマネジメント</u> 等との との共同研究部門等の研究センタ ーでは、	誤記及び脱字のため
12		p.61	これまでの研究所関連書会議の審 議・検討を経て、	これまでの研究所関連諸会議の審 議・検討を経て、	誤字のため
13		p.71	各基盤機関の特色を生かした大学 院生の教育研究環境を整備し、国 内外の研究者をするとともに、	各基盤機関の特色を生かした大学 院生の教育研究環境を整備し、国 内外の研究者と交流するととも	脱字のため

正誤表（達成状況評価）

				に、	
14		p.80	<u>ArCS プロジェクトの若手研究者海外派遣メニュー及び総研大の海外学生派遣事業・インターンシップ事業（2018～「SOKENDAI 短期派遣・長期インターンシッププログラム」）により、計 54 人を派遣している。</u>	<u>ArCS プロジェクトの若手研究者海外派遣メニュー及び総研大の海外学生派遣事業・インターンシップ事業（2018～「SOKENDAI 短期派遣・長期インターンシッププログラム」）により、計 57 人を派遣している。</u>	達成状況報告書 75 ページ目の記載との整合性をとるため
15		p.82	<u>学術成果を一般向けにわかりやすく発信し、研究者コミュニティ及び大学等に貢献する各研究所等への理解を増進した。</u>	<u>学術成果を一般向けにわかりやすく発信し、研究者コミュニティ及び大学等に貢献する各研究所等への理解を増進した。</u>	下線漏れのため
16		p.82	機構紹介動画や機構シンポの記録映像を公開、	機構紹介動画や機構シンポ <u>ジウム</u> の記録映像を公開、	脱字のため
17		p.82	Facebook、twitter のアカウントを取得し ROIS の活動を発信するとともに、Youtube に ROIS チャンネルを作成し、	Facebook、 <u>T</u> witter のアカウントを取得し ROIS の活動を発信するとともに、You <u>T</u> ube に ROIS チャンネルを作成し、	誤字のため
18		p.85	ツイッターによる発信（フォロワー数＝約 2,000）、フェイスブックによる発信（フォロワー数＝約 300）など	<u>Twitter</u> による発信（フォロワー数＝約 2,000）、 <u>Facebook</u> による発信（フォロワー数＝約 300）など	正確に表記するため
19		p.92	業務上日本語能力を必須ではない場合は、	業務上日本語能力を必須 <u>とし</u> ない場合は、	脱字のため

正誤表（達成状況評価）

20		p.94	I-URIC (Inter-University Institute Corporations : 大学共同利用機関法人)	I-URIC (Inter-University Research Institute Corporations : 大学共同利用機関法人)	脱字のため
----	--	------	---	---	-------